

地場産業体験型サービス事業

背景・課題

- 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録等に伴い、国内外からの来訪者の増加と、それを通じた地場産品の需要拡大が期待される。
- 地場産品の加工体験などを通じて、その価値を理解し、購入につながるとともに、長く愛好されることが期待される。
- 本市でも、地場産品を販売する施設は整備されてきたが、常時体験できるようにはなっていない。
- 市内で体験型サービスを提供するにあたっては、採算性等十分検討はされておらず、詳細な調査・検証が必要。

事業内容

- 地場産業体験型サービスを提供することについて、現況調査や先進事例調査、候補地調査等を実施。
- 当該施設では、体験型サービスと合わせ、産品の共同販売や共同での製造・加工、共同宣伝、職人の養成等を行うことも検討。

事業の方向性

- 平成30年度における調査等において、体験型サービスの有益性について評価。
- 当該事業の結果に基づき、平成31年度には、市内の施設を借用等を用いたモデル事業を計画実施予定。

